

MICEの草分け 森本福夫氏が育てた イベントサービスと電音エンジニアリング提携 ～映像、音響、照明強化させ、企画制作から 運営まで一貫したサービスを提供～

1981年創業、国内外のインセンティブイベント企画制作、総合運営の草分け的存在であるイベントサービス。この度、同社の会社を電音エンジニアリング㈱に売却、創業者である森本福夫氏は会長職となり（現在は遠征しビジネスイベントアドバイザーとしてMICE業界に貢献されている）、新社長として電音エンジニアリング 立木淳一氏が就任した。2社が連携することでワンストップでイベントが提供できるようになり、更なるMICEイベントの取り込みと国内顧客開拓に挑む。新社長、立木淳一氏に思いをお聞きした。



イベントサービス 代表取締役
Managing Director
立木 淳一氏

「イベントサービスの新社長に就任されましたが、始めに、イベントサービスの概要をお聞かせください。」

森本会長がいち早くインセンティブイベントに着眼され、1981年に起業されました。まさにMICEに草分け的存在です。MICE事業部とレンタル事業部があり、MICE事業部では香港、シンガポール、タイ、ハワイ、カナダ、アメリカ各地、フランス、モナコ、イタリア、オーストラリアなど、国内主要都市にてイベントを多数実施してきました。逆に海外からのインセンティブイベントの企画制作、総合運営を行なうほか、ラスベガスや海底などホテルイベントとしてテーマパーティを制作いたしました。レンタル事業部ではカジノやカーニバルゲーム、ピンゴや練日などイベント用品のレンタルを行なっています。東京のシブールームにはイベントに関わるさまざまな装飾品やゲームなどを展示しています。とにかく「楽しませることを

楽しむ集団でありたい。」という森本会長の信念から、国内外から多くの商材を輸入、移入され豊富な品揃で多様なイベントに対応しております。

「森本会長は「ラッキーさん」の愛称で日本のMICEをけん引されてきました。」

近年はインセンティブ関係者の集まる国際団体SITEの日本支部立ち上げ活動に注力されています。森本会長の思いを受け、まさか自分がなると思っていなかった社長に就任できたことは、まさにラッキーだったと思います。電音エンジニアリングでは大規模な事業に何本か携わると、次の目標を探しておりました。そこで織田社長よりイベントサービスのお話をいただき、心機一転、挑戦してみようと思ったのです。

「電音エンジニアリングさんは株主總會や周年記念式典など、主にホテルでのビジネスイベントの企画・運営や映像制作において実績をお持ちです。」

電音エンジニアリングは「あ、そんなことまで」を経営理念に、音・光・映像に関わるすべてのことで喜びと感動を提供し続けること、事業領域の幅と事業連携を活かし、社内外に提供できる付加価値を創造すること、創業時から変わらず、徹底的にこだわり、信用信頼される関係を構築することを大切にしています。またホテルでのサービス提供から始まった経緯からエンジニアである前に、ホテルマンであることを常

に意識して、ホテル以外の場所でのサービスにおいてもこの精神で業務にあたっています。ホテル業界においては50年以上、年間20,000件のイベント実績があります。

「MICEの第一人者である森本会長との連携により、どのような展開をされるのですか。」

MICEなどの企画制作から運営まで一貫したサービスを提供することができます。そのためにはイベントサービスの映像、音響、照明の機器や技術を強化させ、LEDスポットやムービーグラインドなど多彩な照明機材や来場されたお客さまにメッセージを確実に伝える音へのこだわりによるストレスレスな会議や演奏会、ダンスパーティーなど、お客さまの満足度を一層高めるための機材などを併走させていきます。イベント演出用保有機材数は6000種類、3万3000点以上におよびますので、これらの機材を適材適所に活用することで多様なイベントに対応していきます。加えて電音エンジニアリングのネットワークを生かして国内顧客開拓を進めるとともに、先々においてはインハウンドビジネスにも進出し、森本会長が培ってこられた人脈や経験をフルに活用し、新たな時代に向けたイベントサービスを作り上げていきます。

株式会社イベントサービス
東京都江東区辰巳3-19-14
URL: www.eventservice.co.jp